東京ジャーミイ金曜日のホタバ

２０１１年9月２３日

イスラームにおける一体化と連帯

ムスリムの皆様

人間の本質は常に幸福を求めます。人が求める幸福を手にし、それを安定した形で味わうためには社会生活が必要となります。集団で生きる以外の選択肢を持たない人間のやすらぎや幸福は、社会のやすらぎや幸福と結びついています。人間の幸福を目的とした崇高なる教えイスラームは、タウヒード、神の唯一性を説く宗教です。

タウヒードとは唯一の存在であるアッラーへの信仰において一体化することです。ご存知のように、ラーイラーハイッラッラー、アッラーの他に神はなしという言葉は、このタウヒードの真髄を成すものです。

イスラームの教えが重きを置いている最も重要な項目の一つは、幸福のための不可欠な条件である一体化と連帯です。一体化と連帯があるところでは友情ややすらぎ、豊かさ、恵みが存在します。現世と来世で幸福であることは、ただアッラーの聖典に結びつき、一体化と連帯のうちにあることによって可能となります。この真実をアッラーは次のように語られています。「あなたがたはアッラーの絆に皆でしっかりと縋り、分裂してはならない。そしてあなたがたに対するアッラーの恩恵を心に銘じなさい。初めあなたがたが（互いに）敵であった時かれはあなたがたの心を（愛情で）結び付け、その御恵みによりあなたがたは兄弟となったのである。あなたがたが火獄の穴の辺りにいたのを、かれがそこから救い出されたのである。このようにアッラーは、あなたがたのために印を明示される。きっとあなたがたは正しく導かれるであろう。」（イムラーン家章第１０３節）

ただアッラーを、そして同じ預言者を、同じ啓典を信じるムスリムがクルアーンのもとに一体化し、「一体化にこそ活力がある」という原則に従い、決して分裂してはいけないということが忠告されているのです。

イスラームの教えでのこの一体化、連帯を確かなものとするためには、まず信者が兄弟であることが宣言されています。事実クルアーンでは、「信者たちは兄弟である。だからあなたがたは兄弟の間の融和を図り、アッラーを畏れなさい。必ずあなたがたは慈悲にあずかるのである。」(部屋章第１０章)と命じられています。

社会において私たちムスリムに課せられた最も重要なつとめは、一体化と連帯を強めることです。手をとりあい、心を一つにし、差さえあって昼夜努力することです。ここで求められている結果に至る為の秘訣は、信仰と意志と忍耐と勤勉さにあるのです。